

道立高等養護学校設置町村交流・連携の会

5月31日、札幌で道立高等養護学校設置町村交流・連携の会が開催されました。

平成26年に設置されたこの会は、各自治体と連携の深い高等養護学校が実習や就労をはじめとする生徒の学習の充実、地域の発展に向けて各地域の取組を交流し合ってきました。今金町長が会長としてこれまで会を支えてこれ、各自治体が主体的に高等養護学校の生徒たちを育てる流れが作り上げられてきました。

当時から高等養護学校への地域の期待は大きかったことから、各自治体から首長及び教育長が出席し、意見交流をおこなってきました。

会ができた当初に比べると、各自治体と学校の取組も幅広くなったのではないかと思います。会議には本庁から針ヶ谷特別支援教育担当局長や中嶋特別支援教育課長など行政からの出席もあり、山内課長補佐からは、今年度の道教委の取組の説明がありました。

幕別町からは笹原教育長が出席し、各地域の教育長と意見交流していただきました。次回は10月に開催予定です。



3年生の貫禄

3年生が労働週間として1週間の作業を行いました。自分たちが仕事の段取りを考え、協力しながら一つの作業を完結させていく姿は、これまでの作業や実習の成果を感じさせます。

目には見えない“仕事への責任感”“働く喜びを感じる力”が育ってこそこの貫禄が生まれるのだと思います。これまでの経験の中で、自分の役割を知り、働いた先の誰かを想像することができるようになった3年生、本当に頼もしく感じます。



学校祭まであとひと月

7月に予定されている学校祭に向けて、各学年で話し合いが進んでいます。自分たちが楽しむことはもちろんですが、地域や保護者、学校に興味をもってくださっている中学生等に学校をどう見ってもらうか?という意識で活動を行う機会となります。昨年よりもたくさんの地域の方々に学校に来ていただき、生徒のパワフルな活躍を見ていただければ、と思っています(＾＾)/

